

ハードウェアコンテスト
GUGEN2020
選考会・授賞式

TOKYO
CULTURE
CULTURE
Shibuya

GUGEN2021

ご説明資料

GUGEN2020 優秀賞

GUGEN2020 大賞
¥1,000,000

GUGEN2020
Goodアイデア賞

ITSCOI

TOKYO CULTURE CULTE

GUGEN（グゲン）＝考える、作る、かたちにする

GUGEN(ぐげん)の主題は、「ユーザーの問題を解決し、『未来のふつう』と成るであろう製品やサービスを、具現(GUGEN)化すること」です。新たなサービスや事業を産み出していくための『電子電機ものづくり』をテーマとし、実用性・商品性の高いハードウェアの募集と支援を行なっております。

よりよい未来をみんなで考え、 みんなで作り上げる

「誰のためのものづくりか」 作り手の人たちは、家族や身近な友人といった顔が見える相手がどう喜ぶか、どう日々の生活が変化するかを想像することが大切です。その想像したアイデアの具現化を私たちは全力でサポートいたします。アイデアのブラッシュアップやプロトタイプづくりを応援する様々な取り組みをこれからも行ってまいります。



GUGEN2015 優秀賞 Pyrenee Drive



ダッシュボードに設置できる車載デバイス。事故の危険が迫った場合にディスプレイ表示と音で危険を知らせる。近年、自動運転などの技術が注目されているが、すべての車に搭載するにはまだ時間がかかる。現状ではドライバーひとりひとりの注意が交通安全に最も効果的と言える。Pyrenee Driveは既存のクルマに搭載できるため、運転をするすべての人のサポートを行うことができる。

GUGEN2016 優秀賞 OTON GLASS



ディスレクシア（読字障がい者）や弱視者を対象とした、「読む行為」をサポートするスマートグラス。視線と同位置にあるカメラで読みたい文字を撮影し、文字認識によって読み上げた音声を聞くことで、耳から文字を読むことができる。通常の眼鏡と変わらない装着感を持つウェアラブルなデバイスなので、弱視者でも長時間の読書を負担なく行うことができる。

GUGEN2017 大賞 人生100年時代に必要な歯磨きシステム



歯磨きを効率化できるスマート電動歯ブラシ。先端にカメラを搭載し、映像をスマートフォンで確認しながら、歯を磨くことができる。さらに紫外線を当てることで、歯垢を可視化。汚れているところを重点的に磨ける。現在の歯磨きは人生50年時代にできた設計であり、人生100年時代に向けた新しい方法を現代の技術で提案するというコンセプトが評価された。

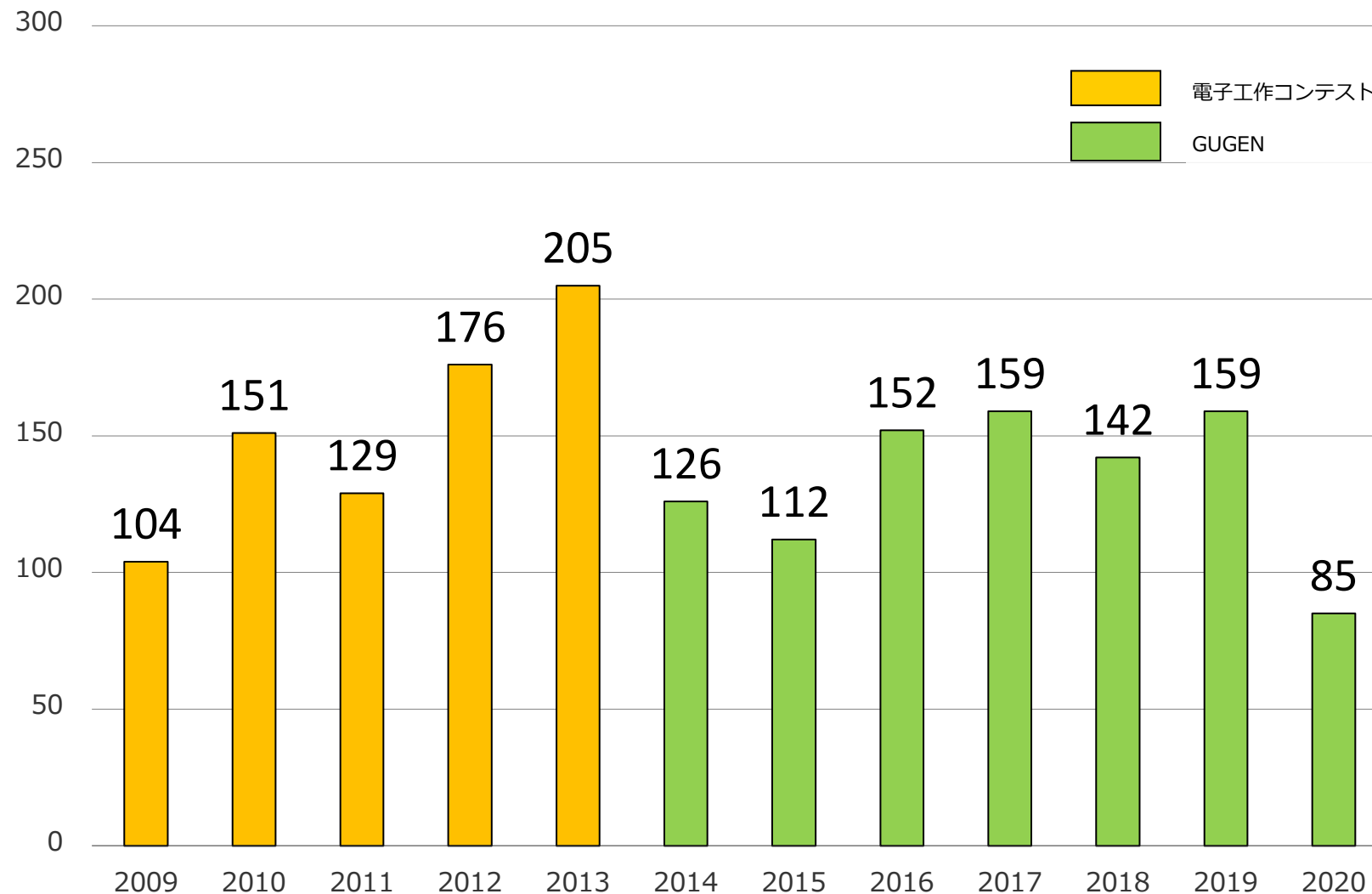
GUGEN2019 大賞 Planter



マンションやアパートなどでも導入できる小型発電機。バルコニーに設置し、風力発電でスマートフォンなどのモバイルバッテリーに蓄電ができる。一般の家庭でも発電／消費の実感ができるインターフェースになっており、すべての人が再生可能エネルギーを身近に感じることができる。デザイン性優れている点と、エネルギー問題について人々に考えるきっかけを与える点が評価された。

過去のGUGEN応募者

GUGEN



累計 1,700作品がGUGEN Webサイトにアーカイブされています。

GUGEN2020

選考会・授賞式結果



開催日	2020年12月5日（土）
会場	東京カルチャーカルチャー(オンライン)
参加料	無料（YouTubeライブで配信）
応募作品数	85作品（前年159作品）
一次通過作品数	16作品（前年61作品）
当日プレゼン作品	13作品（前年61作品）
YouTube視聴回数	約1300回(2021年1月現在)
スポンサー数	11 社

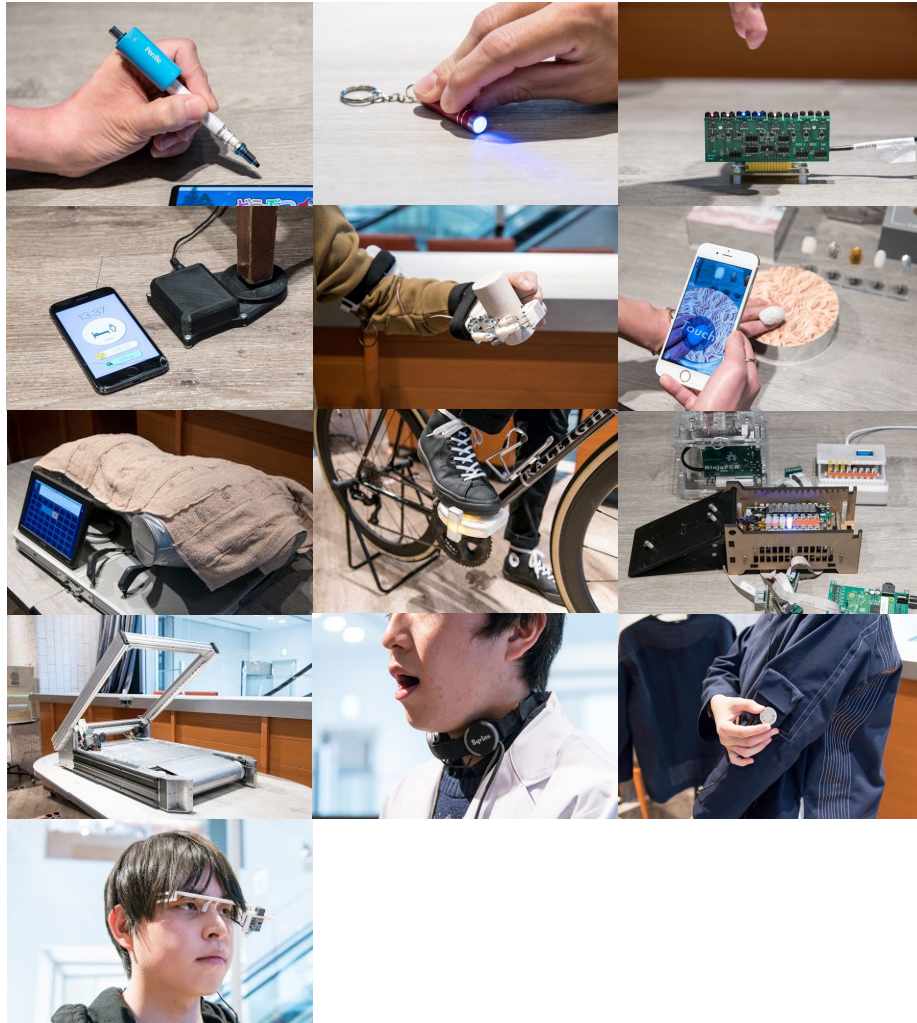
GUGEN2020 会場風景

GUGEN



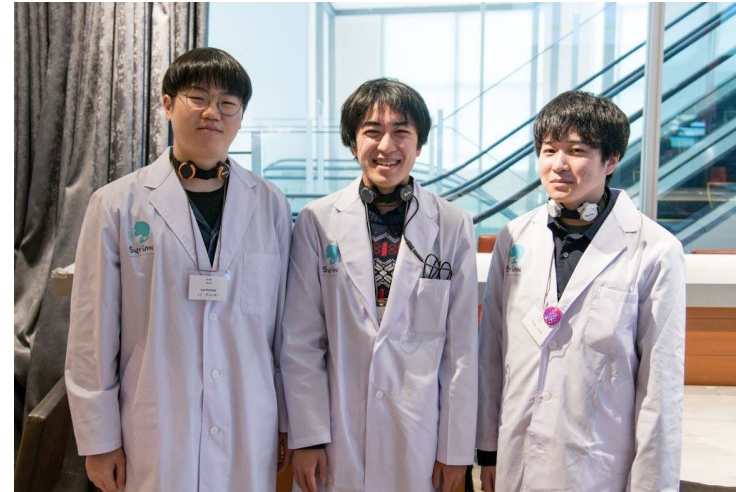
当日プレゼンテーション作品

GUGEN



No. 004	<u>Penbe ～勉強したくなる魔法のペン～ by Penbeプロジェクトチーム</u>
No. 005	<u>Dental LIGHT by Dental LIGHT</u>
No. 013	<u>非接触空間センサー 双方向ハンドセンサー by 3D UI lab</u>
No. 018	<u>Get UP! -起きるまで止まらない目覚まし時計- by 川元 佳一郎</u>
No. 023	<u>exFinger by 舟木 翔太郎</u>
No. 026	<u>FULU -AR用爪形触覚デバイス- by Studio Tada</u>
No. 039	<u>ソコオル (ソコ⇔ココ コミュニケーション) by hanabusa Lab.</u>
No. 047	<u>【給電不要】自転車用ウィンカー coexi by 外山創大</u>
No. 058	<u>オープンで安価なPCRを世界に届ける by 久川真吾・まり子</u>
No. 061	<u>無限3Dプリンター Lee by BirthT</u>
No. 066	<u>Syrinx by チームSyrinx</u>
No. 078	<u>weAMar -導電糸アンテナコイルのウェアラブルラジオ- by 林 悦子</u>
No. 080	<u>画面のいらないデジタル文字盤 EyeTalk by カオス研究所</u>

Syrinx by チームSyrinx



Syrinxは、喉頭がんなどの病気により声帯を摘出して声を失った方が、口パクをするだけでヒトに近い発声を可能にするウェアラブルデバイスです。声帯摘出をして声を失った方々のコミュニティである銀鈴会の方々からフィードバックをいただきながら、開発を進めています。

受賞作品紹介（優秀賞）

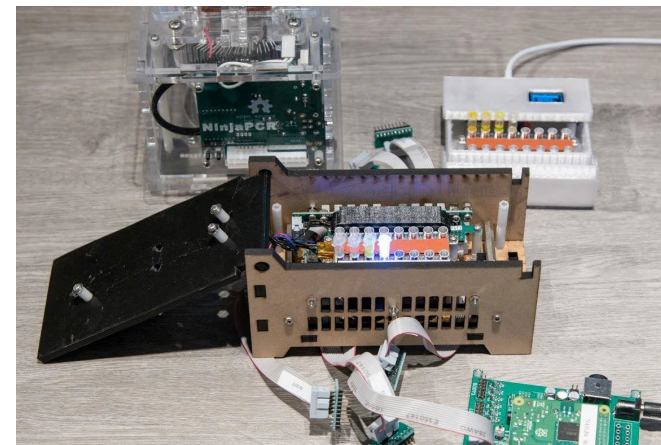
GUGEN

【給電不要】自転車用ウィンカー coexi
by 外山創大



coexiは自転車のペダラー体型のウィンカーです。発電機構が組み込まれていて一度取り付けると半永久的に使うことができます。ウィンカーとしての機能だけでなく、サンキューハザード等、自転車から車へのコミュニケーション行為への発展も目指しています。

オープンで安価なPCRを世界に届ける
by 久川真吾・まり子



COVID-19を含む各種感染症やアレルギーの検出にも使用できる、原価300ドルのリアルタイムPCRです。日常で使われているような物で大きな社会課題に取り組んでいる点が、審査員からの高い評価を得ました。

受賞作品紹介（Goodアイデア賞、学生賞）

GUGEN

■ Goodアイデア賞

FULU-AR用爪形触覚デバイスー

by Studio Tada

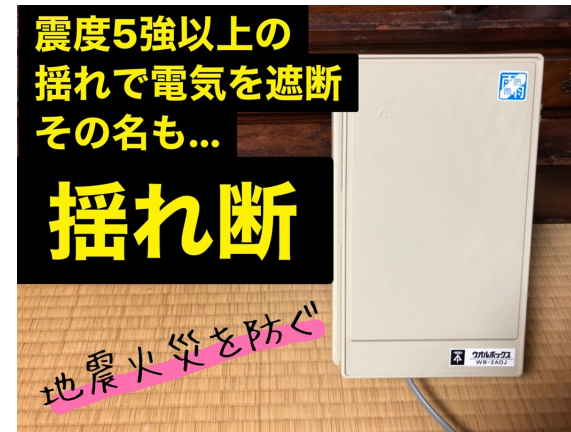


FULU（ふる）はデジタル体験に触覚を取り入れるための爪形ウェアブルデバイスです。遠く離れた場所でも、触覚によるコミュニケーションが可能になります。Withコロナの時代に今までになかった新しい触覚型の体験の提供が期待できる点が評価されました。

■ 学生賞

揺れ断

by 愛知県立豊橋西高等学校パソコン部



揺れ断は震度5強以上で電気を遮断するガジェットです。コンセントと家電を仲介して設置することで地震発生時の通電火災や漏電を防ぐことができます。学生ながら作品のコンセプトを特設ホームページでわかりやすくまとめられていました。



Junichi Fujioka

藤岡淳一氏 JENESIS株式会社及びJENESIS深セン法人 創業代表

今年度は世の中に必要とされる技術がガラッと変わった。それにも関わらず、短期間で様々な世代の方がアイデアを形にして応募してくれたことに敬意を表す。今回のように世の中に大きな変化が起きても、テクノロジーの力で小さなことから大きなことまでチャレンジしていった欲しい。



Seitaro Yamazaki

山崎晴太郎氏 株式会社セイタロウデザイン代表

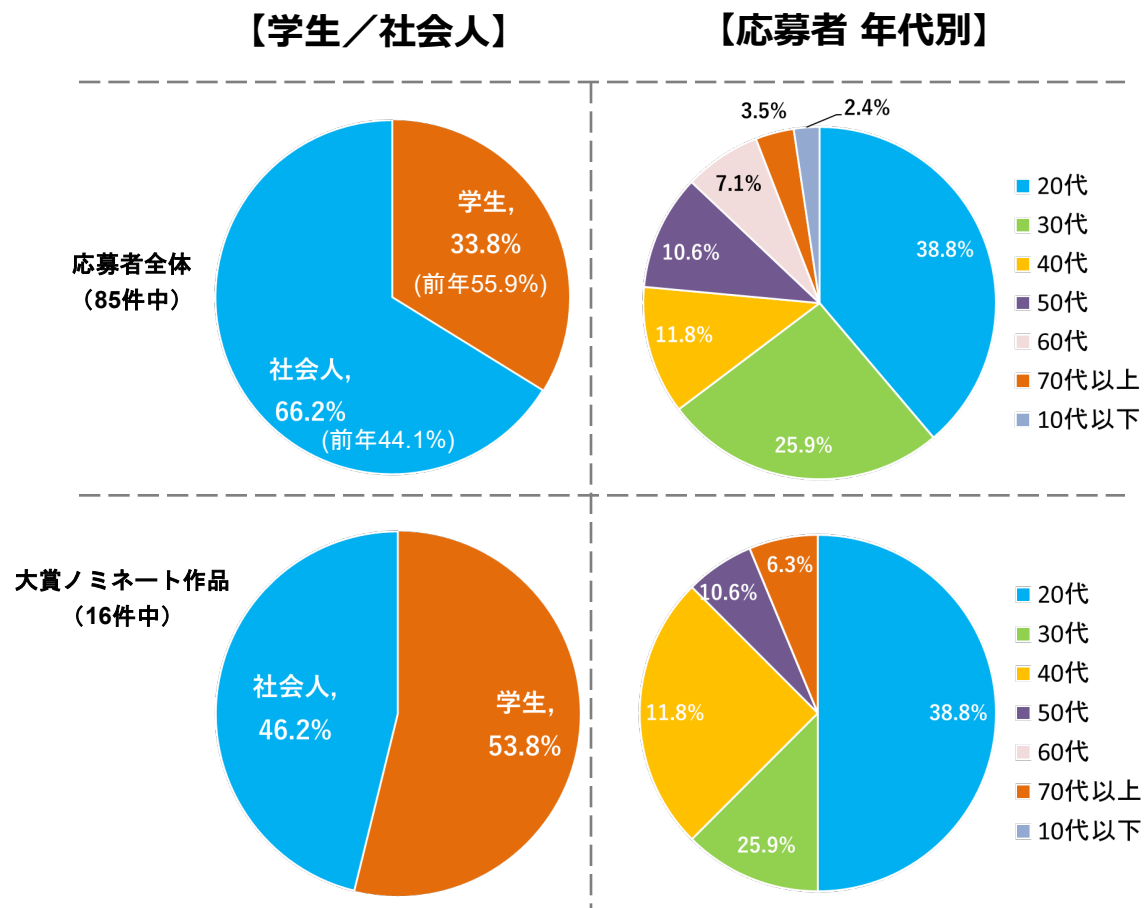
「今後は作るだけでは終わらせず、作った物で社会をどう変えていくか、デザインしていくかを突き詰める必要があると思っている。作り手の内側の欲望と社会へのインパクトがきれいに結びついた時に次のステップへスケールするアイデア、プロダクトになる。生活の中で課題や欲求を乗り越えていくアイデアが今後増えていけば良いと思う。



Tomihisa Kamada

鎌田富久氏 TomyK代表/株式会社ACCESS共同創業者

オンラインでのイベントが増えている中、実際に動く物が見みることができ、非常に楽しませてもらった。特に大賞ノミネート作品13チームの作品はコロナ対策のソリューションだけでなくニューノーマルの生活の課題を解決する作品や既存の社会課題を解決する作品も多く見られた。これから新しい価値を創造していく若い人たちの力を感ずることができた。

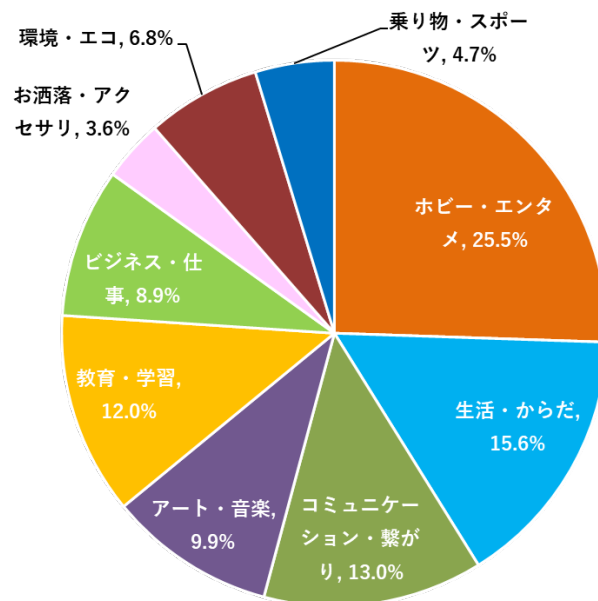


社会人の割合増加（前年度は学生55.9%、社会人44.1%）。新型コロナウイルスの影響により大学などでオンライン授業が導入され、研究室などの施設を使用する機会が減ったことが要因にあると推測できる。一方で大賞ノミネート作品に関しては学生が採用されている割合が高い結果となった。ハードウェアで世の中の課題解決を目指す若い世代の活躍の場としてもGUGENは機能していると考えられる。

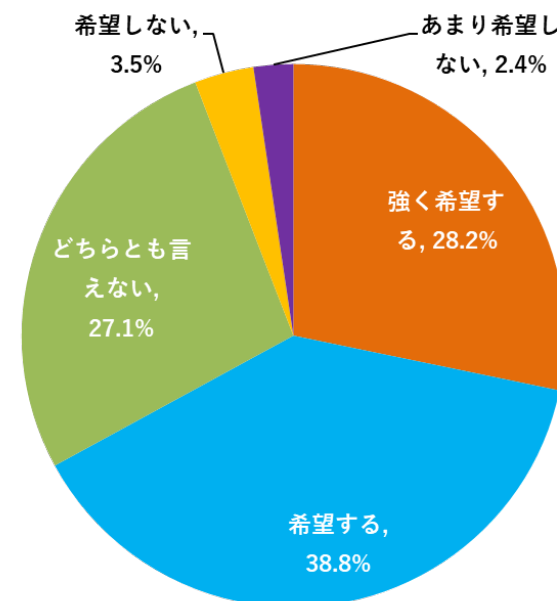
■ 学生

東京大学、京都大学、岡山大学、大阪工業大学、首都大学東京、東京都立大学院、東海職業能力開発大学校、法政大学、電気通信大学、筑波大学、京都産業大学、東北学院大学 など

【応募作品のテーマ比率】



【作品の商品化について】



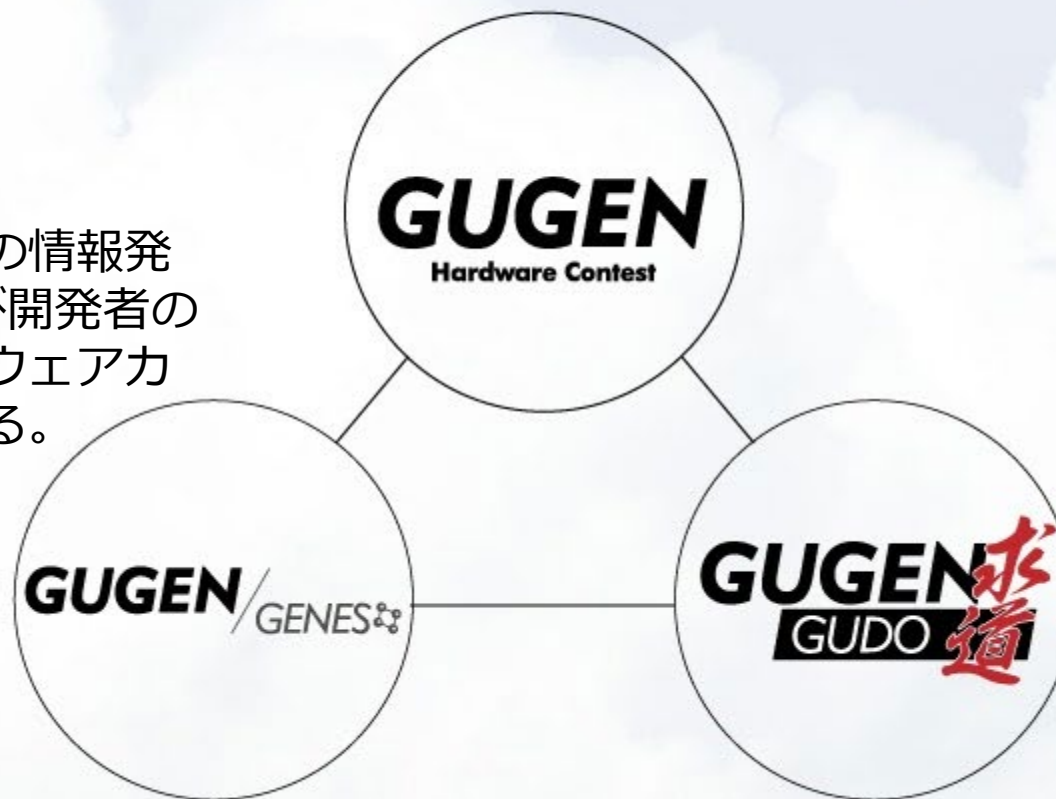
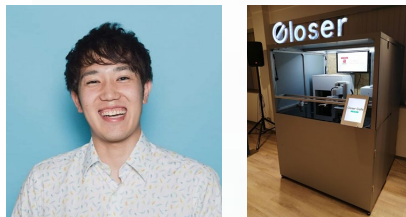
応募作品のテーマ比率を見た時、「ホビー・エンタメ(昨年21.9%)」「教育・学習(9.0%)」をテーマとした作品が昨年より微増。外出する機会が減ったため、自宅での過ごし方を模索した結果だと推測する。また、作品の商品化について「強く希望する」と答えた応募者が前年の35.8%に比べて減少した。先行きの見えない情勢から製品化については消極的になっていると考えられる。GUGENの応募作品の中にはP板.comのサービスを利用している物もあり、自社サービスと絡めて積極的に作品の製品化を進めていきたい。

GUGEN2021

企画内容案

作品展示会およびオンラインでの選考会を実施。
ニューノーマルに対応したハードウェアコンテストとして開催する。

SNSなどで応募作品の情報発信し、GUGENおよび開発者の認知を広げ、ハードウェアカルチャーを盛り上げる。



P板.com EMSと連携し、
GUGEN応募作品の製品化のサポートを行い、作品の具現化を目指す。



GUGEN2020では感染症対策の観点からオンラインでの開催を実施となった。今年度についてはオンサイトでの展示会、オンラインでの選考会を別日に分けて実施し、ニューノーマルに対応したハイブリットなイベントとして執り行う。

11 月 作品展示会：



※GUGEN2019 の画像を使用

世の中の課題を解決するハードウェア作品を募集し、会場で展示を行います。参加費は無料で実施し、ハードウェアの祭典として GUGEN 作品を世の中に広めていきます。

12 月 選考会・授賞式：



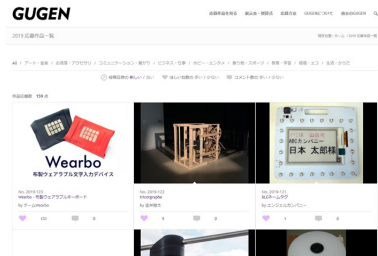
※GUGEN2020 の画像を使用

作品展示会の中から大賞ノミネート作品を選出し、作品のプレゼンを行います。プレゼンの内容を元に最終審査を行い、GUGEN 大賞を決定いたします。プレゼンテーションや授賞式の様子はオンライン配信を行います。

GUGEN CONTEST 授賞式までの流れ(予定)

GUGEN

11月：作品展示会（オンサイト）



①作品募集



②出展作品審査



③作品展示会



④ノミネート作品選出

12月：選考会（オンライン）



①作品プレゼン



②最終審査

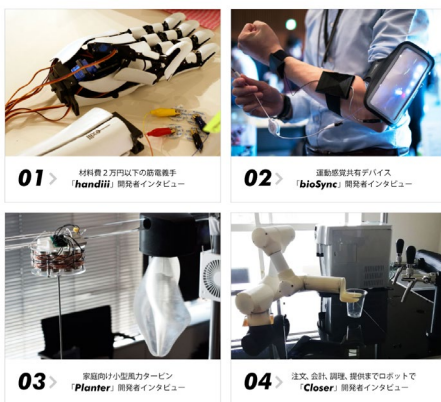


③後日Webで発表



GUGENのGENES(遺伝子)を世の中に輩出し、ハードウェアのカルチャーを世の中に広める。

INTERVIEW



作品インタビューなど

応募いただいた作品チームをピックアップし、インタビューを実施。インタビュー記事はGUGENウェブサイトへ掲載すると同時にSNSで拡散。GUGENと応募作品の認知度向上を図るとともに、モノづくりに興味を持つ層の拡大へつなげる



クラウドファンディング挑戦作品のピックアップ

クラウドファンディングや製品化に向けて具体的に動いているチームをピックアップしてGUGEN内で紹介します。また、クラウドファンディングサイトなどと連携して作品のPRを行っていきます。



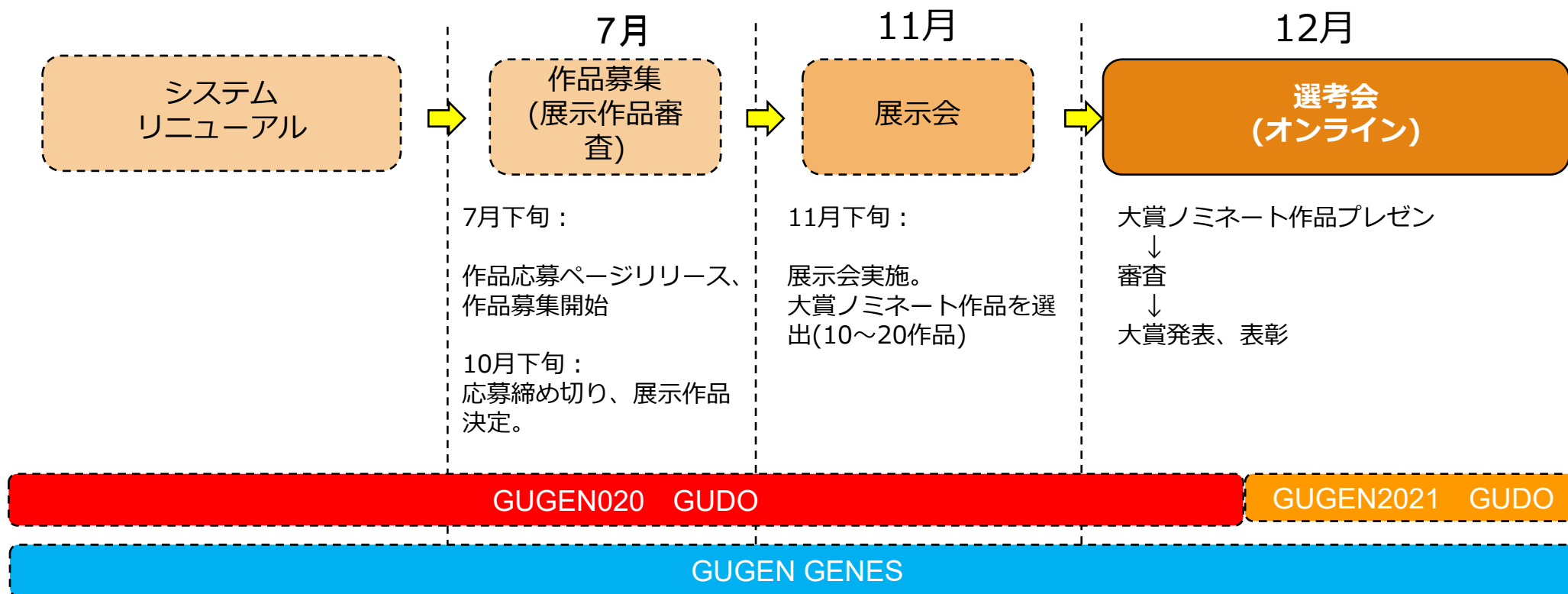
作品の具現化に向けあらゆる方面からサポートします。

GUDO（求道）とは真理を追い求めて修行を行うこと。GUGENでの受賞者に対して資金面での支援やP板.comのEMSを中心とした製造や量産に関するメンタリングを行う。コンテストだけに終わらず作品の具現化（製品化）までのサポートを行います。製品化できそうなアイデアはスポンサー企業との協業で製品化することも可能です。



GUGEN2021スケジュール(予定)

GUGEN



GUGEN2021

協賛のご案内

GUGENコンテストは国内最大級のハードウェアコンテストです。モノづくりに携わる多くの方が一堂に会する場となります。

GUGENにご協賛をいただくことで、モノづくりに関わる方々に向けて様々なアプローチが可能となります。

GUGENに協賛する3つのメリット

1. ブランドイメージ向上
2. メイカーへの情報発信
3. 人材・製品発掘

ブランドイメージ向上

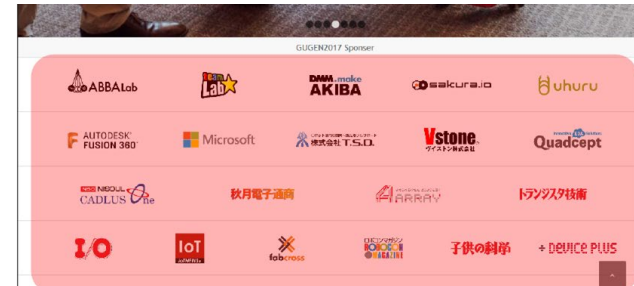
GUGEN

貴社のブランドイメージ向上に貢献いたします。

○ロゴ掲載

○サイドバナー掲載

○スポンサー賞の設置



ロゴ掲載



サイドバナー掲載



スポンサー賞の設置

メーカーへの情報発信

GUGEN

各業界のメーカーやモノづくりに興味がある方々に向けて、貴社のサービスや製品の情報を発信にご協力いたします。

○メルマガ送付権

○資料配布

○プレゼンテーション



メルマガ配信



資料配布



プレゼンテーション

GUGENは、優秀な人材・製品発掘の場としてもご利用可能です。新しいヒト・モノ・コトの発掘をご支援させていただきます。

○ネットワーキングイベント



リクルーティングの成功事例の実績あり

ネットワーキングイベントイメージ

協賛メニュー表

GUGEN

特典	プラン	プラチナ	ゴールド	シルバー
	費用	50万円	25万円	10万円
ロゴ掲載		○	○	○
サイドバナー掲載（※1）		◎	○	×
スポンサー賞の設置（※2）		◎	◎	○
メルマガ送付権（※3）		◎	○	×
資料配布（※4）		◎	○	×
プレゼンテーション または動画CM放映（※5）		◎	×	×

※1：プラチナスポンサーはGUGENと@ele、ゴールドスポンサーはGUGENにサイドバナーを掲載いたします。

※2：プラチナスポンサー、ゴールドスポンサーはスポンサー賞の審査基準掲載が可能となります。

※3：プラチナスポンサーは3回、ゴールドスポンサーは1回、GUGENメルマガ会員全員にメルマガ配信いたします。

※4：プラチナスポンサーは3種類の資料、ゴールドスポンサーは1種類の資料を参加者に配布いたします（PDFなどのデジタルデータでの配布となります）。

※5：5分程度のプレゼンテーションか会社紹介動画などを幕間に配信いたします。

GUGEN2020のスポンサー実績

GUGEN



HAXTokyo

TOSHIBA

東芝デバイス&ストレージ株式会社



JENESIS

秋月電子通商

Vstone
ウイストン株式会社

JELLYWARE



トラ枝ジュニア



子供の科学



Pr^oOut
STUDIO

これまでのスポンサー実績：

株式会社ABBA Lab、リクルートキャリアフル、株式会社DMM.com、fabcross、SWITCHSCIENCE、コクヨ株式会社、株式会社ネットメカニズム、株式会社マクニカ、リクルートMakers Hub、株式会社ワコム、秋月電子通商、ウイストン株式会社、オムロンスイッチアンドデバイス株式会社、株式会社カヤック、Quadcept株式会社、株式会社KORG、東芝デバイス&ストレージ株式会社、トランジスタ技術、株式会社T.S.D、株式会社トヨタIT開発センター、AgIC株式会社、白光株式会社、nulab、ユカイ工学株式会社、株式会社マイナビ、MONOist、ロボコンマガジン、コワーキングスペースMONO、大阪イノベーションハブ、福岡市、横浜市、イノラボ、富久無線電機株式会社、mixi、DFG、日経エレクトロニクス、NXPセミコンダクターズ、アイティメディア株式会社、株式会社アリス、モクロック、サンハヤト株式会社、チームラボ株式会社、株式会社ニューズベース、ペリテック、マルツエレクトロニクス株式会社、リクルートメディアテクノロジージャパン、リブエレクトロニクス株式会社、ルネサスエレクトロニクス株式会社、ソニー株式会社、株式会社ニソール、株式会社ウフル、ローム株式会社、イノテック株式会社、株式会社ジェイテクト、HAX Tokyo、株式会社CAMPFIRE、FUSION 360、LINE株式会社、アナログデバイス株式会社 他

○ GUGEN HP : <https://gugen.jp/>

○ メールアドレス : info@gugen.jp

○ 電話番号 : 03-3261-3431

○ GUGEN実行委員会 担当 : 赤木/後藤

※お問い合わせは、上記連絡先までご連絡ください。